

家畜保健衛生所たより

(平成21年度 第10号)

山 梨 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所

韓国で弱毒タイプの高病原性鳥インフルエンザ(H7N2亜型)が発生!!

韓国においてアヒル等の糞便をサーベイランス(調査監視)の一環として検査したところ、平成21年12月13日、弱毒タイプの高病原性鳥インフルエンザウイルスが分離されました。発生場所は韓国南西部の生鳥市場で、感染が確認されたアヒルおよび同市場の鶏、アヒル173羽が殺処分後、焼却されています。市場の消毒も実施され、現在は出荷農場等のさかのぼり調査を実施中です。

鳥インフルエンザの予防対策を徹底しましょう!!

・野鳥や野生動物の侵入防止

網目が2cm角以下の防鳥ネットを張る、ねずみの駆除などにより、野生動物との接触をなくしましょう。

・鶏舎周辺及び農場出入り口への石灰散布

石灰散布による鶏舎周辺の消毒は人や野生動物によるウイルスの侵入防止につながります。

・人や車両を介したウイルスの侵入防止

農場内へみだりに外来者を立ち入らせないようにし、農場に出入りする関係車両の消毒をしましょう。鶏舎の出入口には専用の長靴や衣服を用意し、作業する人の手指の消毒を消毒してください。また、農場への搬入機材も消毒するなど人や物を介したウイルスの侵入を防止する対策が必要です。

・飲用水・飼料の汚染防止

飲用水や飼料がネズミや野生動物の糞尿で汚染されないようにしましょう。飲料水は水道水か、塩素消毒をした水(市販の次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いて遊離塩素濃度を0.1ppm以上にします。)を与えるようにしましょう。

・鶏の健康管理や死亡鶏の適切な処理

導入鶏の健康チェック・検査履歴の確認をしましょう。また、死亡鶏は農場内に放置しないようにしましょう。

・鶏糞の処理

鶏糞は十分に発酵処理をして、処理施設には防鳥ネットを張りましょう。また、鶏糞処理施設専用の衣類・長靴を用意しましょう。

鶏の急な死亡率の増加など、異常がみられる場合はすぐに家畜保健衛生所までご連絡下さい。

家畜の病気等に関するお問い合わせは西部家畜保健衛生所まで・・・TEL:0551-22-0771 FAX:0551-22-6728

